

# 放送大学 北海道同窓会会報

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 中根 恵美子

発行日令和7年(2025)年7月01日(水)

URL: <https://ouj-dosokai.com/><https://hokkaidosokai.webnode.jp/>

会員数 255名

令和7(2025)年6月30日現在

## 「研究者が専門を変えるとき一言語研究から観光創造研究へ」

放送大学北海道学習センター所長 山田 義裕



アカデミックカフェなどの講演会の後で、「先生のプロフィールを知りたい」あるいは「ご専門は何でしょうか」という質問をいただくことがあります。今回の巻頭言では、いつもとは少し趣向を変え、私の研究の歩み 一おぼつかない足取りの一端ではありますが一をご紹介しますと思います。

私の研究者としての出自は理論言語学ですが、ここしばらくはツーリズムの関連領域で研究を続けています。観光分野の研究を始めてちょうど20年に入りましたので、言語学者が観光研究を始めるに至った経緯などを少し振り返ってみたいと思います。

初対面の方から「先生のご専門は何ですか」と尋ねられることがあります。私はこの手の質問が苦手です。質問者が特に、大学の教員・研究者というのはこの道一筋で努力研鑽を積み、道を究める人種であると思込んでいる方だと答えに窮してしまいます。

私は大学に入学してすぐにノーム・チョムスキー (Noam Chomsky) という言語学者を知り、この「知の巨人」の思想に衝撃を受け、「生成文法 (generative grammar)」（当時は「変形文法 (transformational grammar) 」と呼ばれていました) の書籍や論文を読みあさり始めました。それ以来、大学院から大学の助手や講師の時代は、脇目も振らずに生成文法研究に邁進しました。若い研究者の時代は、言語学研究の道から外れることなどはよもやあり得ないと思っていました。しかし、人生には予期せぬ伏線が潜んでいるものです。

大学や大学院で学生に教育・研究指導を行うようになると、自分の狭い専門分野に蟄居しているわけにはいかず、学生が持ってくる様々なテーマに合わせて指導する必要があります。これは多くの大学教員が経験することです。私も、専門の生成文法だけでなく、コミュニケーション研究やメディア研究等の隣接分野の研究テーマもカバーできるように、自分の研究領域を少しずつ広げていきました。それでも、広義の言語研究という大枠から外れることはなく、自分の研究と学生の指導がうまくかみ合うような形で平穏な大学教員生活を送っていました。

人生一寸先は闇というのは、大学教員にも当てはまります。ゼロ年代半ばから、私が当

時勤務していた北海道大学に観光分野の教育研究組織を設置しようという動きが出始めました。ちょうど2003年、小泉純一郎元首相が観光立国を宣言し、その余波が経済界から高等教育へと波及していった時期にあたります。このような流れの中で、北大は2006年に観光学高等教育センター、2007年に観光創造専攻という大学院組織を設置しました。観光創造専攻は、国立大学法人では初の博士後期課程まで有する専攻でしたので、メディアにも大きく取り上げられました。

私は当時、この観光系教育研究組織の立ち上げに下働き部隊の一員として関わっていたこともあり、新設の観光創造専攻で大学院教育に協力してもらえないかと声がかかりました。大学からずっと理論言語学の分野でトレーニングを受けてきた私にとって、観光関連の教育研究は決してなじみのあるものではなく、研究者人生始まって以来の大きな岐路に立たされたわけです。行きがかり上この依頼は引き受けざるを得ず、新たな分野に飛び込もうと腹を決め、新専攻設置のための教員審査と新たに担当する講義に向けて、急ごしらえながら必死に準備したのを覚えています。

専攻名の「観光創造」というのは、一言で言うと、従来の観光学を批判的に考察することで観光研究の新たなフロンティアを切り拓くムーブメントのことです。そのコンセプト通り、新専攻の教員も観光の専門家集団というのではなく、文系・理系を横断した様々な分野で観光に何らかの形で関わってきた研究者たちでした。この実に多様なファカルティ（教授陣）からの指導を求めて、大学新卒の学生だけではなく旅行業や旅客業に携わる現役の社会人など、これまた多様で個性的な学生たちが入学してきて、新設の観光創造専攻で活発な教育活動や共同研究が始まったのです。

私は、このような教員や学生と共に新たな観光研究のフロンティアを目指して悪戦苦闘しながら、言語学研究に打ち込んでいた時とはまた違った知的興奮をいつしか感じるようになっていました。今年が観光創造専攻設置から18年目ですので、すでに多くの学生が学位を取得し、社会の第一線で活躍しています。なんとも頼もしい限りです。私自身も、2006年に観光研究に着手してからちょうど20年目を迎えました。その間、大学院生の教育指導に携わるとともに、外部資金（科学研究費補助金）を獲得して、若手研究者を誘って観光分野の共同研究を続けてきました。

私の観光分野における研究は、「人はなぜ旅するのか」という観光原論的考察に始まり、ホスピタリティ研究、観光のまなざし研究、観光メディア研究などが中心的テーマでしたが、ここ数年取り組んでいるのはピースツーリズム研究、つまり観光と平和に関する研究です。この研究を始めるきっかけとなったあるエピソードをひとつ紹介しましょう。

北大時代、同僚の若手教員が2017年に平和観光研究会を立ち上げ、私もそのプロジェクトに参加することになりました。ソウル大学と広島大学から平和研究分野の研究者を招聘して北大キャンパスでキックオフイベントを開催したのが2017年12月、その翌年の2018年7月には韓国の済州島で4・3事件70周年を記念して開催された「Island Peace Forum」に私たちの研究チームも招待されました。このフォーラムは、ソウル大学、済州研究所(Jeju Research Institute)、国立台湾師範大学、北海道大学の共催という形で、KALホテルを会

場に7月12～13日の日程で開催され、4・3事件、冷戦景観および平和観光に関する研究発表やシンポジウムを通じて活発な議論が交わされました。会場での研究交流の後に済州島のエクスカージョンが企画されており、私たちの研究チームもそれに参加しました。エクスカージョンでは、まず4・3平和公園へ行き博物館を見学した後に、バスで南西部に移動して、ソダルオルムやアルトゥル飛行場跡を回るダークツアーに参加しました。ダークツアー、ダークツーリズムというのは、戦跡や災害被災地などの暴力や悲劇の痕跡をめぐる観光のことです。戦跡をガイドしてもらいながら、ツアーの後半、足元にふと目をやると、赤と青のリボンがあるのに気がつきました。

私は、済州島訪問はこの時が初めてで、この島の観光についてもあまり詳しくはなかったのですが、この年の3月に参加した「歩く滞在交流型観光の新展開」(北大観光学研究センター主催)という国際シンポジウムで、済州島には「オルレ (Ollle)」と呼ばれる「歩く観光」の試みがあることだけは耳にしていました。済州オルレというのは、済州島の各地に設けられたトレッキングのコースで、理事長の徐明淑氏がスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼経験からヒントを得て構想したものだそうです。上述の国際シンポジウムには済州オルレ事務局長の安殷周さんが招待されていて、私は彼女の講演から、済州オルレはサンチャゴ巡礼にならって道のあちこちにリボンや標識を置いているとの情報を得ていました。この講演の話が頭の片隅にあり、ダークツアーで戦跡巡りをしている最中に足元にリボンを見つけて、ひょっとしてこれはあのオルレの標識では、と思わず立ち止まったという次第です。



ダークツアーで戦跡巡りをしていると思っていたら、いつの間にかそれがトレッキングコースと交わり、思いもかけずに済州オルレを実践していたのです。ダークツアーとオルレの交錯、この時のあたかもパラレルワールドに迷い込んだかのような感覚が、観光と平和という異質のものをいかに結びつけることができるのか、というピースツーリズムの問題へと私を誘ってくれたのです。

観光というのは世の中が平和であって始めて成立する営みである、というのが平和観光の従来からの共通理解です。戦争になってしまったら観光などできないのだ、だから平和は大切なのだと。私は常々、観光というのは平和に依存する営みだという消極的思考から脱却すべきであると考えてきました。特に平和という概念をより根源的なレベルにおいて「市民/民衆の平和 (people's peace)」として捉え直した場合、その実現あるいは回復に向けて観光、あるいは観光研究がより積極的に果たすべき役割があるのではないかと考えています。私は20年前に観光創造研究を始めたときから、観光とは「異質な他者との偶然の出会い」であるとのテーゼのもと研究を続けてきましたので、ピースツーリズムへもこの切り口から、つまり「他者性」「偶有性」「出会い」という概念を鍛えることを通じてアプローチしようとしているところです。詳しい話は、いつか講演会等でお話できればと思っています。

## 「北海道学習センター近況」

放送大学北海道学習センター  
事務長 山内 好子



この4月に着任いたしました山内と申します。どうぞよろしくお願いたします。早いもので着任から3か月が過ぎようとしておりますが、5月中旬に開催された総会後の懇親会にお誘いいただき、一部の同窓会会員の方にはお見知りおきいただけたようで、嬉しく思っております。



近年の札幌は、夏の到来が早くなっているように感じられ、6月にして帯広市や北見市では30℃超えを記録する暑さとなっております。ご自宅で学習なさる方も、学習センターで学習なさる方も、水分・塩分の補給に気を付けてお過ごしください。

さて、最近の北海道学習センターでは、サークル活動が活発に行われ、明るい声が戻ってまいりました。文化祭に向けての準備に忙しくされている方もお見かけします。

緑豊かな北海道大学キャンパス内にある北海道学習センターは、サークル活動や面接授業の息抜きに散策をするのにぴったりです。6月下旬の現在は、蓮の花が朝の光にきらめきながら水面をたゆたう様子が見られます。

北海道学習センターでは、定年退職を機に、セカンドライフの楽しみ方のひとつとして入学される方が増えていることから、シニア向け入学案内「おとなパンフJ B」を本年2月に発行しました。センターのHPから請求できますので、ご友人、知人の方にも放送大学での学びをおすすめいただくと幸いです。また、放送大学公式 YouTube チャンネルでは、各学習センターを紹介する YouTube 動画を配信しており、この春にリニューアルしました。こちらもぜひ併せてご覧ください。

(北海道学習センター紹介：<https://www.youtube.com/watch?v=GIGII-0GaKo&list=PL0VE9wWQ7mkuwkgb52nmY5ZutI5a7ybEU&index=8>)

「会員の皆さん!お元気ですか?」

放送大学北海道同窓会  
会長 中根 恵美子



能登半島地震や多発する自然災害などで復興がままならないなど被害にあわれた方やご家族の方々にお見舞い申し上げます。困難に遭われている中でも放送大学での学びや同窓会活動を続けている学友や同窓生に敬意を表します。私たちはいつまでも応援しています。

会員の皆様、今年度定期総会で役員任期満了に伴い私が引き続き会長を続けることになりました。早く後輩に引き継ぎたいと声掛けをしていますが、引き受けてくださる方が今回も見つかりません。しかし、2年後は期待してください。頼もしい新役員が数名就任しました。楽しく元気でいつまでも皆さんに寄り添っていけるようにと願っています。お力をお貸してくださいね。

さて、昨年度は、東北北海道地区同窓会交流会の北海道開催にご協力をいただきました。ありがとうございました。また、11月の第20回放送大学研究発表会では放送大学長岩永雅也先生に記念講演をしていただきその際も会員の皆様はもとより、山田所長、学習センター事務の方々、学友会や学生サークル、学生諸君との協力で盛大に開催できました。心から感謝申し上げます。私たちが学びながら協力して活動できるのは学習センターのバックアップがあればこそです。同窓会役員も日本の社会と同様の高齢化が最大の悩みです。本当に有難い学習センターの支援です。

6月に同窓会連合会の定時総会に出席しました。



連合会の総会では全国の同窓会が一堂に集いそれぞれ情報を持ち合って意見交換します。その中では放送大学で学び、地域社会に貢献している諸活動やそのほかユニークな活動をしている学生や同窓生を紹介します。例えば、青森八戸サテライトではMr, マリックから「カードマジック専門家」の称号を授与され毎月1回特技を披露するなどの活動をし

ている学生。高知では同窓会役員と「はちきんいごっそうおしゃべりサロン」を開催している。徳島では戦後 80 年になるので、引き上げ体験者である会員が老人会でその体験を通して思い出を共有したいとの事。山口ではおもちゃの病院の医師として、リサイクルに取り組む学生や、中学校で図書館ボランティアをしている学生などがいる。岡山では「睡眠と健康」をテーマにしたおしゃべりサロンを開催して睡眠の大切さを学んだとの事。島根でも環境保全活動やオンブズマン活動など多様な活動が紹介された。さて、我が北海道では、知事認定を受け里親を始めた同窓生がいます。大学で学んだ事が大変役立ち一時保護 4 名、一時委託 1 名を養育しているとの事。農業支援ボランティアをしていて、農家の作業人員の仕切りになくてはならない存在になっている同窓生、その他の同窓生も知的好奇心が旺盛なせいか町内会やマンション管理組合の役員に引っ張りだこで、地域にとって重要な役割を担っているようです。会員の皆さんも自己アピールでも、他者アピールでも [juukichi1949@gmail.com](mailto:juukichi1949@gmail.com) へご連絡くださるとありがたいです。皆さんよろしくお願ひします。juukichi は 私の亡父の名、1949 は私の生年です。ぜひご連絡くださいね。また、会報 47 号から仮名 d ですが「放送大学生私の履歴書」と題して原稿を募集（編集委員の選考あり 10 月 30 日締め切りで MS 明朝 12 ポイント A4 一枚程度の内容をメールで中根まで）します。気軽にご応募下さいね。

さて、本年度も文化祭は 9 月中旬に行い(33p~36p に記事あり)ます。また会員の皆さんのご協力をお願いしたいです。全国規模の放送大学学園祭やサークルのネットワークも出来上がりました。放送大学学生の活動もどんどん活発化しています。学籍を離れた方ももう一度学習センターに戻って活動しませんか？ 新しいことを始めると脳内伝達物質のシナプスの活動が活発化されアクティブな人生がより活性化するのは？

11 月 22 日に第 21 回放送大学研究発表会を開催します。昨今、新聞、テレビ、ラジオなどのマスメディアの情報と SNS での情報が大きく異なることも多く、どの情報が真実なのか計りかねています。今回の研究発表会基調講演ではメディアと社会的リアリティ（現実）についての学びを放送大学北海道学習センター客員教授鈴木純一先生にお願いして学び、視野を広げたいと思います。また、今年 3 月修了の 2 名の論文発表を予定しています。発表者の努力の結果を市民や道民に報告するとともに、後輩の学びに一役かっていたきたいと願っています。

前述の行事のほか、北海道同窓会の役員は会報発行年 2 回、卒業を祝う会開催年 2 回と定期総会開催を主な仕事とし、このほか北海道の海岸を日本一美しくしたいと海岸清掃に年間 6 回 NPO に協力して活動しています。どこの場面でもよいので一緒に活動してみませんか？ワシントン大学の講演でも①週 3 回 30 分ほどの有酸素運動と②新しい事への挑戦③夜寝る前の 1 分で今日学んだことを映像化して思い出す作業が記憶力に良いとの事なので、同窓会役員の活動に混ぜてみてはどうでしょう。かでて（仲間に入れて）ほしい時は [juukichi1949@gmail.com](mailto:juukichi1949@gmail.com) にメールか 090-2058-4453 電話くださいね。

## 令和6年度第2学期 学位記授与式

令和6年度第2学期の学位記授与式が3月29日午前10時から放送大学北海道学習センター3階で開催されました。



「祝辞」 <ご卒業おめでとうございます>

放送大学北海道学習センター  
所長 山田 義裕

本日お集まりの皆様、このたびはご卒業、ご修了、まことにありがとうございます。皆様が晴れて学位記を授与されたことを心よりお祝い申し上げます。

今回学部をご卒業された方は、北海道学習センターが120名、旭川サテライトスペースが16名、合わせて136名でございます。また大学院修士課程は、北海道学習センターが3名、旭川サテライトスペースが4名、合わせて7名の方が見事修士号を授与されました。在学中に、この中の多くの方が、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験したものであると思います。この感染症が流行しはじめたのは2020年の2月頃、その後2年以上にわたり移動・交流の制限が続きました。その間、面接授業や学習相談では対面で指導を受ける機会が必ずしも十分ではなく、それぞれにご苦労されたことと推察いたします。しかしそのような中で、卒業・修了に係る所定の単位を修得し、卒業研究や修士論文をまとめ上げ、こうして晴れの日を迎えたことは素晴らしいことであり、皆様の努力を讃えたいと思いま

す。そして、このような厳しい環境の中での勉学を支えていただきましたご家族や関係者の皆様にも、教職員を代表して感謝申し上げる次第です。

また、放送大学の6コース全てを卒業して名誉学生の称号を授与された方、あるいは3コース以上のコースを終えられて特別賞を得られた方々には、そのたゆまぬご努力に心より敬意を表したいと存じます。

放送大学には、高校新卒者から定年退職後に入学された方まで実に幅広い年代の学生が学んでいます。年代の多様さを反映するように卒業後の進路も様々で、大学院へ進学する方、別のコースで勉学を継続する方、学位の取得を機に社会で新たなキャリアを目指す方、あるいは初めて社会人となる方もおられるかもしれません。卒業後に皆様ご自分で選んだそれぞれの道を歩みながら、充実した人生を送ることを心より願っております。

先ほど触れましたように、私たちの社会はパンデミックの間、移動・交流の制限という暗いトンネルの中をしばらく歩き続けたわけですが、その中でなんとか社会機能や経済活動を維持しようと様々な工夫が凝らされました。その代表的なものがオンラインの活用です。放送大学でも、この間、教育DX推進の目標を掲げてウェブを活用した教育へと舵を切り始めました。2022年度は単位認定試験のオンライン化、2023年度はライブウェブ授業という新たな授業形態を開発・試行し、今年度は自前のPCを活用するBYOD方式を導入したところです。このような教育の情報化の新たな試みは、導入直後は問題が続発することも少なくないのですが、トラブルシューティングの方策が共有されることで、次第に安定的なシステム運用へとつながっていくのが普通で、放送大学の教育DXの新たな試みもそうなることを期待しています。

さて、学位記授与式の所長式辞では、毎年、いま私たちの社会が抱える課題のひとつに焦点を当ててお話しすることで、それを皆様への餞のことばの代わりとさせていただいています。今回は、コロナ禍を契機にはじまったここ数年の情報環境のドラスティックな変化とその社会的リスクについてお話しさせて下さい。

コロナ禍をきっかけに、大学やICT企業のほんの一部でしか利用されていなかったZoom等を使ったオンライン会議があつという間に普及し、職場での対面の会議や趣味のリアルな交流の代わりに活用されるようになりました。ひとつデータをご紹介しますと、一日あたりの世界のZoomユーザー数は、パンデミック前の2019年12月には1000万人だったものが、パンデミックが宣言された数ヶ月後の2020年6月にはなんと3億人に跳ね上がっています。Zoom等を活用したテレビ会議やオンライン授業は、最初は社会機能維持のための緊急避難として始まりました。しかしパンデミックが長引き、これが一時退避では済まないことが分かると、「新しい生活様式(New Normal)」のかけ声の下、オンラインによる活動が奨励され、それが現在に至るまでなんらかの形で継続されています。国際会議などはハイ

ブリッド開催が当たり前で、オンラインワークを活用したワーケーションも社会に受け入れられつつあります。

このようにオンライン活動のインフラが整備され、誰にも使いやすくなったことは、様々な理由で物理的な移動が難しい人たちにとっては朗報でしょうし、障害を抱える方々のためにアクセシビリティを高める努力はさらに進めていくべきだと思います。ただ他方、オンライン環境の急速な拡大にともない、この人工的環境への没入や過度な依存、そして対面交流からの撤退が新たな社会問題として意識され、問題の所在を明らかにしようとする試みも始まっています。

ひとつ例を挙げましょう。東北大学の脳科学者・川島隆太教授が、パンデミック下のオンライン授業に関して大変興味深い実験を行っています。「対面会話」と Zoom を使った「ウェブ会話」における脳の活動を定量的に評価・比較する実験です。川島先生は、まず他者への共感を示す脳領域を特定した上で、その脳領域の活動が同期することと、実際に人と人とが共感していることには相関関係があることを明らかにしました。それを踏まえて、「対面会話」と「ウェブ会話」における脳の活動を比較したのですが、対面会話では参加者の脳の共感領域の同期現象はもちろん確認できましたが、一方ウェブ会話ではこのような同期現象が一切観察できなかつたということです。つまり、対面会話と異なりオンラインでは脳の共感領域は同期せず、それゆえ参加者の共感も生じていないことになります。川島先生は、この実験結果から、オンラインコミュニケーションでは情報伝達はできるが、他者への「共感」は生まれず、それ故「協調」や「協力関係」もうまくつくれないのでは、と分析しています。

もう一つこれに関連した調査を挙げると、東京工業大学（現在は東京科学大学）の三宅美博教授が「共感」と「身体の動きの同調」に非常に強い相関関係があることを実験により明らかにしています。乳幼児の発達研究を通じて、母親と赤ちゃんの間の「原初的」コミュニケーションにおいては模倣や身体の同調が重要であることが以前から指摘されていましたが、この研究はこれが大人のコミュニケーションにも当てはまることを示唆しています。これらの研究結果から分かるのは、同じ物理的場を共有して身体的交流を行うことこそが、人と人との共感を促すということ、そしてテレビ会議などのオンラインのコミュニケーションはその代わりにはならないということです。

私たち人間は、合理的に思考する理性的主体ですが、同時に物理的な身体を抱える動物でもあります。身体を媒介した他者や環境との相互関係が共感という認知機能の基礎にあり、共感が他者への信頼やそれに基づく協働作業に必要不可欠であるとするなら、対面の交流を避け、肥大化するオンライン空間にどっぷりと浸かりながら依存を深めることがいかにリスクイカが分かるでしょう。また、この2年ほどで急速に普及しつつある ChatGPT を

はじめとする生成AIがさらに進化すると、こういったチャットボットとのコミュニケーションが私たちの日常に知らず知らずのうちに入り込んでくるかもしれません。AIにより強化された利便性の高いオンライン環境が潜在的にもつリスクには、今から危機感を持つべきである、と私は思います。

私たちの社会は、AI・ビッグデータ時代という新たな情報化のフェーズに入り、今後もより多くの社会機能がオンライン環境へと移植されていくと予想されます。その時代の趨勢の中で、私たちはもはや、世捨て人にでもならない限り、オンライン環境から逃れて生きることはできないでしょう。「同じ場を共有して身体的交流を行う」という私たち人間の基本的営みが損なわれないようにするにはどのようにしたらよいのか、今まさにそれを考える時期に来ています。コロナ禍をきっかけに次第に輪郭が明らかになってきた難題ですが、本日卒業される皆様には、個人の生活のレベルだけでなく、より高次の社会的レベルにおいても考えてほしいと思い、この場を借りて問題提起をさせていただきました。

今回はオンライン環境の拡大に伴うリスクについてお話しましたが、皆様が卒業後もこういった社会のアクチュアルな問題のどれか一つにでも関心を持ち続け、世代を越えて協力して取り組むことを大いに期待し、それを私からのお祝いのことばに代えたいと思います。

本日はまことにおめでとうございます。

### 〈令和7年3月29日学位記授与式〉〈学位記授与式の様子〉



〈今回6コース全てを卒業して名誉学生の称号を授与された坂本春恵さんです。〉



### 〈修了・卒業を祝う会の様子〉

大講義室を借りて役員・来賓を含めて43名ほどで始まりました。  
所長・事務長は旭川での学位記授与式出席のため急いでご挨拶を頂きました  
所長から餞の言葉をいただきました。



長尾事務長が3月末で転勤になるので同窓会から感謝の花束贈呈がありました。2年間という短い間でしたが、微に入り細に入り、時には体を張ってサポートして下さいました。おかげ様で、同窓会会務が年2回の「卒業を祝う会」開催、ひとこと集の発行、会報の発行に加えて、昨年



8月末開催の同窓会連合会東北北海道地区交流会も成功し、11月は岩永大学長を迎えての研究発表会も大盛況で開催できました。このご恩は死ぬまで忘れません。

長尾事務長!!感謝しきれません。  
今後のご活躍とご健勝を同窓会一同で祈念しています。

### 〈修了・卒業生より記念品贈呈の様子〉



所長と事務長は旭川での学位記授与式に出席するため、集合写真を撮り退出しました。

### 〈学生サークルうたの会のみなさんからお祝いの歌のプレゼント〉



### 〈修了・卒業を祝う会の様子〉

元客員教授の長谷部先生が饞の言葉を贈り、乾杯の音頭を取ってくださり、お茶とお赤飯や紅白のお饅頭で、お互いの卒業・修了をお祝いしました。

修了生・卒業生がご自分のサクセスストーリーをお



一人ずつお話することがこの祝う会の特徴。各人がお互いの話を聞きながら「そうだ」と頷き、つらかった事情のところでは他人事でなく涙ぐむ。今回は自慢話もしてくださいと司会がリクエストし、参加者は「時間内では語りつくせない」などと言いながら控えめながらも訥々と語り、個人個人の学びや人生の深さに感動し、いつもの通りの放送大学生の絆を確認する場となりました。

\*個人情報管理の都合上、学位記授与の様子や集合写真などの掲載は控えめました。



**<ご卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です>(敬称省略)**

**(写真は学位授与式と祝う会より)**

《人間と文化コース》

音更町 坂本 春恵

今回卒業を迎え嬉しいような悲しいような複雑な気持ちです。今回北海道学習センターから4回目の特別賞を受賞しました。学位記受領は6回目になり、放送大学の名誉学生として承認されました。そこで放送大学の学位記授与式出席の権利がなくなり、北海道同窓会心づくしのお赤飯が食べられないのが一番の心残りです。

さて 昨年11月2日第20回放送大学研究発表会に参加しました。その後札幌駅近くで学長を囲んで懇談会が実施されました。13年前、面接授業講師の第1号は岩永教授でした。また第2回目の学位記授与式でNHKホールに出席し、祝賀会の会場で「いいカメラ持ってるね」と突然岩永教授から声がかかりました。

聞くと《娘さんの旦那が私が撮影しているカメラと同じ会社に勤務している》とのこと



でした。岩永教授との再会は面接授業の中身を含め、酔うほどに昔話に花が咲き贅沢なひと時となりました。今回教授から学長になった岩永雅也学長から教養学士の学位記と名誉学生の称号をいただけることに歴史の縁を感じました。



《社会と産業コース》  
中川郡池田町  
上口 たみ子



2024年度の後期で卒業（3コース目）できるとは思ってもいませんでした。とてもうれしいです。昨年秋にシニア向け入学案内「おとなのパンフ JB」のモデルになり、札幌学習センターの加福さんが、わが家の農作業畑に撮影に来て下さったのが一生の思い出になりました。これからも、ますます勉強に励んで行きたいと思います。



## 「ことばの使用と話し手の視点」——視点表現の不思議な特性——

### 1 はじめに

- (1) 視点 (viewpoint) とは何か

物や人や事態を眺める時の見る人の立場。

#### 1.1 視覚認識における視点の重要性

- (2) 視覚システムの単一視点の特性

私たちが出来事や事態を眺める時、視点つまりカメラアングルは一カ所に固定されるのが普通である。(知覚の「スナップショット・モデル」(snapshot vision) ) \*1

- (3) 錯視 (visual illusion) と視点

- a. Rubin vase
- b. Wittgenstein' s rabbit-duck illusion
- c. impossible objects (e. g. the Penrose triangle)
- d. Escher' s impossible figures

- (4) 「多視点」の絵画技法\*2

キュビズムの絵画、パブロ・ピカソの「アヴィニョンの娘たち」

### 2 言語使用と話し手の視点——視点現象と共感度理論

- (5) 本日の講演の目的：

「視覚システムの単一視点の特性」を踏まえて、「視点」、特に「話し手の視点」がことばの使用にも興味深い形で影響を及ぼしていることを日英語の「視点現象」を事例に考える。

- (6) 本講演で取り上げる言語現象 (視点現象、直示表現\*3)

- a. 日本語の授受動詞： やる/くれる
- b. 日英語の移動動詞と指示語 (demonstratives) :  
行く/来る/これ/それ/あれ、come/go/this/that, etc.
- c. 日本語の呼称 (address terms) : ぼく、きみ、お母さん、先生

---

\*1 宮崎・上野 (1995:4-9) を参照のこと。

\*2 ピカソの描くキュビズム的人物画 (目は二つで正面を向いているが、鼻は横向き) は、私たちの「単一視点」の視覚システムの特性を逆手にとった「多視点」の絵画技法である。

\*3 直示性 (deixis) : 発話の行われる場面との関連においてのみ了解がなりたつような言語表現の性質 (三省堂英文法辞典)

## 2.1 言語使用に関する視点の重要原則-視点の一貫性の原則

### (7) 視点の一貫性の原則

話し手の視点は一つの文において一貫していなくてはならない。\*4

## 2.2 日本語の授受動詞の使用を例に

### (8) 日本語の授受動詞 (やる-くれる)

- a. 太郎が花子に本をやった。
- b. 太郎が花子に本をくれた。

- (9) a. うちの太郎がとなりの花子に本をやった。○
- b. うちの太郎がとなりの花子に本をくれた。×
- c. となりの太郎がうちの花子に本をくれた。○
- d. となりの太郎がうちの花子に本をやった。×

### (10) 三つの視点 ( : 「話者の視点」 )

太郎 ⇒ 本 ⇒ 花子



### (11) 仮説1 : 授受動詞 (やる-くれる) の特性

- a. 話し手の視点が与える人 (主語) にある場合 : やる
- b. 話し手の視点が受け取る人 (与格目的語) にある場合 : くれる
- c. 話し手の視点が中立の場合 : やる

### (12) 仮説2 : 「うちのX」 vs. 「となりのY」

「うちのX」と「となりのY」が文中に共起している時、話し手の視点は「うちのX」に置かれる。

### (13) (9a) vs. (9b) (「やる」は○、「くれる」は×)

うちの太郎 ⇒ 本 ⇒ となりの花子



### (14) (9c) vs. (9d) (「やる」は×、「くれる」は○)

となりの太郎 ⇒ 本 ⇒ うちの花子




---

\*4 Kuno(1987) ではEmpathy (共感) という概念を用いて、この原則を次のように述べている。

*Ban on Conflicting Empathy Foci: A single sentence cannot contain logical conflicts in empathy relations.*

## 2.3 話し手第一視点の原則

### (15) 話し手第一視点の原則\*5

話し手は、常に自分の視点をとらねばならず、自分よりも他人寄りの視点をとることができない。

- (16) a. 僕が太郎にお金をやった。○  
 b. 僕が太郎にお金をくれた。×  
 c. 太郎が僕にお金をくれた。○  
 d. 太郎が僕にお金をやった。×

### (17) (16a) vs. (16b)

僕 ⇒ 金 ⇒ 太郎



### (18) (16c) vs. (16d)

太郎 ⇒ 金 ⇒ 僕



## 2.4 「話し手第一視点の原則」からの逸脱現象

- (19) 「話し手第一視点の原則」は、私たちの視覚認識の観点から自然な原則で、言語使用においても様々な視点現象を説明してくれる点で極めて信憑性の高い原則である。しかし、ある種の視点表現の使用において、この原則から一見逸脱しているように見える現象が存在して射る。ヒトツハ英語の往来の動詞 (come, go, etc.) や指示語 (this, that, etc.)、もう一つは日本語の親族の呼称である。

### 2.4.1 日英語の往来動詞の使用の比較——「視点の移行」の仮説

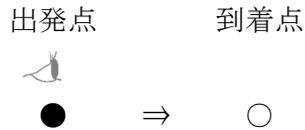
- (20) おかあさん：太郎、ごはんができましたよ。  
 太郎：いま行くよ。／×いま来るよ。
- (21) Mother: Dinner' s ready, Taro.  
 Taro: I' m coming. / × I' m going.
- (22) a. あなたの家に赤ちゃんを連れて行きます／×連れて来ます。  
 b. I' ll bring my baby to your house / × I' ll take my baby to your house.

---

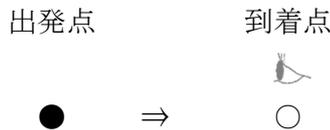
\*5 Kuno(1987:212) では、これは” Speech Act Emptat Hierarchy” (発話当事者の視点ハイアラキー) と呼ばれている。

(23) 第三者間の移動 (●: 動く主体/出発点側の人、○: 到着点側の人)

a. 行く-go: 視点 ( ) は出発点

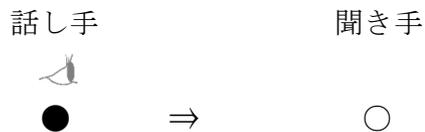


b. 来る-come: 視点 ( ) は到着点

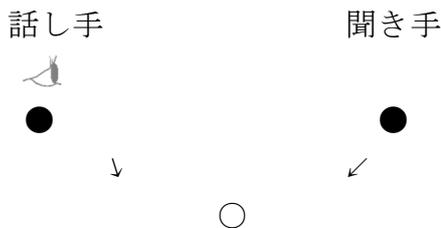


(24) 話し手と聞き手の間の移動 (●: 移動する人)

a. 行く-come ((25a, b) vs. (26a, b))



b. 行く-come (25c, d) vs. (26c, d))



(25) a. すぐにあなたのところに行きます。○

b. すぐにあなたのところに来ます。×

c. 3時にパーティーに行きますので、そこでお会いしましょう。○

d. 3時にパーティーに来ますので、そこでお会いしましょう。×

(26) a. I' m coming to you soon. ○

b. I' m going to you soon. ×

c. I will come to the party about 3 o' clock tomorrow afternoon. Please be there. ○

d. I will go to the party about 3 o' clock tomorrow afternoon. Please be there. ×

(27) 視点の移行\*6

話し手(私)

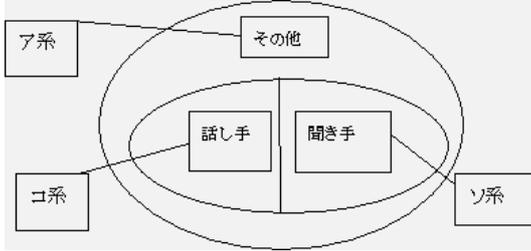
聞き手(あなた)



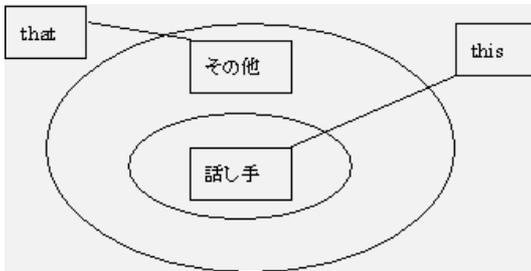
\*6 Lyons (1977: 579) の “deictic projection” の議論を参照のこと。

## 2.5 英語の指示語の使用に見られる「話し手第一視点」からの逸脱現象

### (28) a. 日本語の指示体系



### b. 英語の指示体系



### (29) 日本語の指示体系

日本語では話し手の領域・聞き手の領域・その他の領域を指すのにそれぞれ「これ」・「それ」・「あれ」に代表される3タイプの指示表現を使い分けるが、「こ・そ・あ」のうちどのタイプの指示語が用いられるかは指す対象が話し手から見てどの領域にあるかにより厳密に決まっている。また、次の例は、話し手は視点を常に自分自身に置いてそれぞれの領域にいる人や物を眺めねばならず、自分の視点を自分以外の領域にいる人や物に置くことは出来ないことを示している。

### (30) a. これ/×それ/×あれ、君にあげるよ。

(話し手が聞き手に渡すものを手に持っている状況での発話として)

### b. その/×この/×あのペン貸してよ。

(聞き手がペンを使っている状況での発話として)

### c. あの/×この/×その鳩どこから出したんだろうね。

(話し手と聞き手が観客席から手品を見ている状況での発話として)

### (31) 英語の指示体系

英語ではもっぱら聞き手の領域を示す「それ」に相当する指示詞はなく、話し手の領域を指すthis/hereとそれ以外の領域を指すthat/thereのみである。しかし、どちらのタイプの指示語が用いられるかは、一見日本語ほどは厳密ではないように見える。特に下記の例は、「話し手第一視点の原則」から逸脱していると思われる現象である。

### (32) (電話口の相手が誰かを確かめるのにthis が用いられる場合)

- a. Who is this? / そちらどなたですか?
- b. Is this Taro? / そちら太郎ですか?

放送大学北海道同窓会定期総会所長講演会 山田義裕 (2025. 5. 24) 6

(33) (話し手が自分の手元にあるものを指すのにthat やthere が用いられる場合)

- a. You can have that. / これあなたにあげるわ。\*7
- b. How about there? / このあたりはいかがでしょう? (国広1985)
- c. Take that. / これでもくえ。\*8

## 2.6 日本語の方言に見られる往来動詞の「話し手第一視点」からの逸脱現象

- (34) a. お前ん家に来っけん  
 b. でん出らりゅうば (出て行けるのならば)  
 出てくるばってん (出て行きますけど)  
 でん出られんけん (出て行かれないので)  
 出て来んけん (出て行きません)  
 こん来られんけん (行かれないので)  
 来られられんけん (行かれないから)  
 来ん 来ん (行かないよ、行かないよ)

## 3 視点の移行の認知的基盤

(35) 他者への視点の移行の認知的基盤

直示表現の一見論理に合わない使用は、「聞き手」や「第三者」への視点の移行を仮定することで説明が可能となる現象がある。では、視点の移行の仮説を支持するような認知的・生物学的な根拠はあるのだろうか。認知心理学分野で進められてきた「他者視点取得」や「心の理論」に関する研究がそのヒントを与えてくれる。

参考文献

Fillmore, Charles (1997) *Lectures on Deixis*. CSLI Publications.

宮崎清孝・上野直樹 (2008) 『視点』 (コレクション認知科学3) 東京大学出版会

大江三郎(1975) 『日英語の比較研究——主観性をめぐって』 (不死鳥英語学叢書) 南雲堂、東京

田窪行則 (編) (1997) 『視点と言語行動』 くろしお出版

\*7 Cecilia: Oh, what—wait a minute, what am I thinking? Look here, I've got a whole bag of popcorn ...

Tom: Wow!

Cecilia: You can have that. (From the script of *The Purple Rose of Cairo*)

\*8 "Jim," he whispered, "take that, and stand by for trouble." (from Stevenson's *Treasure Land*) (「ジム」シルバーはささやいた。「これをもっとけ、何かあったときのための備えだ」)

廣瀬幸生・加賀信弘 (1997) 『指示と照応と否定』 研究社出版

国広哲弥 (1985) 「言語学道場」『言語』第14巻第3号、大修館書店、東京

久野暉 (1978) 『談話の文法』 大修館書店

Kuno, Susumu (1987) *Functional Syntax: Anaphora, Discourse and Empathy*, The Univ. of Chicago Press.

Lyons, John (1977) Semantics: Volume 2. Cambridge University Press.

放送大学北海道同窓会定期総会所長講演会 山田義裕 (2025.5.24) 7

山田義裕 (1999) 「言語伝達と指示表現—指示詞と呼称の用法をめぐって—」『言語文化部研究報告叢書』（北海道大学） Vol.36, 245-259. *The Northern Review* Vol. 31, 47-61.

## 令和 7 (2025) 年度第 21 回定期総会開催

5月24日(土)午後3時00分から放送大学北海道学習センタ6階会議室にて第21回放送大学北海道同窓会定期総会を開催しました。

司会は大内須美子幹事。中根会長挨拶の後、山田所長、山内新事務長、学友会会長代理参加からご挨拶をいただき、その後、山口が会員からの返信葉書に記載されている近況報告の中から、役員で事前に抽出した近況を代読しました。続いて、速水幹事が同窓会会則第12条第1・2項に基づき会員263名・本日の出席役員は8名で出席会員は12名・欠席委任状101名で、委任状を含む出席会員数が出席役員数以上となり本総会は適正に成立したと報告しました。成田会員が選ばれて議長席につき、議事に入りました。第1号～第3号議案(令和6年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第4号～第5号議案(令和7年度事業計画案・会計収支予算案)、第6号議案(役員選任の件)について、いずれも承認可決されました。

議長は議事のすべてが終了したので閉会を宣して終了しました。定期総会終了後、懇親会をJR札幌駅北口の居酒屋で11名参加で開催しました。釧路から継枝会員がサプライズ参加。新幹事も加わり盛り上がりは最高潮。楽しすぎる懇親会となり、今回も2時間制限のところ30分超過し名残惜しく解散しました。



## 「定期総会承認書類」は 別冊にして同窓会会員のみにも同封しました

### 役員就任

〈同窓会役員になりました、よろしくお願ひします〉

北海道同窓会幹事 熊谷 寿二



2025年3月に放送大学大学院修士課程を修了し同窓会に入会しました。放送大学は選科履修生として学部で2年間社会学を中心に学び、社会学の特に都市社会学という分野に興味を持ち、さらに学びを深めたく大学院修士課程に進学し修士論文を作成しました。放送大学では、幅広い学術分野における豊かな先生とその先生による充実した授業がたくさん提供されており、年齢を問わず学び続けることができ環境がととのっているすばらしい大学だと思っています。

私は札幌生まれの札幌育ちです、子供のころはこんなに大きな市ではなく大通にある丸井さん（デパート）のサーチライトが当時住んでいた美園から見えたことを思い出します。大学から東京に移り住み、そのまま東京で就職をしましたが縁あって札幌にもどり、札幌で定年を迎えることができました。さらに定年後の自由な時間を放送大学で有意義に過ごす事ができ、自分自身でも大変恵まれていると思っています。

修士課程修了後、4月から博士後期課程で引き続き都市社会学の分野で研究を行っています。今までの放送大学での体験で得られたことを、これからの学生の皆さんに少しでもお伝えできればと思い、同窓会への入会と同時に役員へ参加させていただきました。おそらく、最も若いメンバーだと思います、若輩者ではありますが少しでも同窓会と北海道学習センターとそこで学ぶ学生の皆様のお役にたてるよう努力したいと思っています。

秋の研究発表会で修士論文にもとづいた発表の機会もいただきました。博士後期課程は授業もなく自由ですが（全くないわけではありませんがほとんどありません）、逆に油断していると何もせずじりじりと惰性で怠惰な時間を過ごすことにもなりかねません。学びから得られる新しい発見を楽しみながらも、成果を出すために日々を送らなければと自分に言い聞かせながら過ごしています。皆さんのお役にすこしでもたてるよう努力しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



## <新任幹事に選任されて>

放送大学北海道同窓会 幹事 成田 孝 男

私は令和7年3月期で何とか生活と福祉コースを卒業することができた。入学時は10年間在学できるということなのでこれならなんとか頑張ってやれるだろうということで入学した。当時、道民カレッジを受講しており、放送大学と単位互換制度があることを先輩から教えてもらった。放送大学の1単位が道民カレッジの15単位にカウントされるということは大変嬉しいことであった。放送大学の単位を取るためには単位認定試験に合格することが必要であり当然のことである。加齢に伴いこれに合格することは大変難しかった。しかし、学びは楽しい。単位を取るためには少々の苦勞があった方がよい。



放送大学の面接授業には、20代から80代超の方々が受講している。孫の世代と同じ若い世代の方々と一緒に面接授業を受講し、グループ討議で意見交換をすることは、若い世代のしっかりとした意見を聞けることが嬉しい。私が同じ世代の頃こんなことを考えていただろうかと反省もする。

団塊世代の私は仕事に突っ走っており、勉学は仕事に必要なもののみ必死になってやっていた。今は退職して放送大学で生涯学習の必要性を強く感じている。文部科学省のHP（ホームページ）には生涯学習の4つの柱として、「知ることを学ぶ、為すことを学ぶ、人間として生きることを学ぶ、共に生きることを学ぶ」となっている。生涯学習は、すべての人々が心豊かで人生を送るための生活保障としての役割も有している。では、生涯学習はなぜ必要なのだろうか。1つ目は、自由時間の増大により、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大しているため、2つ目は、より豊かな人生を送るため、3つ目は、社会や経済の変化に対応するためとなっている。私の胸にはじんと響いてくる。

今年の4月から5月にかけて稲作農家さんへ手伝いに行ってきた。水稻の育苗、水田のゴミ上げ及び田植えまでの一連の仕事をしてきた。ゴミ上げとは、田を耕し、代かきを行うとコンバインで刈り取られた稲わらが沢山出てくる。それを畦に上げて田植えがしやすいようにする。こうして水田に水が張られ準備が整うと田植え開始となる。今回の農家さんは10条植え田植機を使用し、4日間で24haの田植えをした。おいしい道産米として元気に育てほしい。



一方、全国の稲作農家さんも年々減少している。少子高齢化、後継者不足の問題がここにも影を落としている。米の需要は、食の多様化や人口減などを背景に減ってきている。しかし、生産量が減れば、いずれ米が不足することが考えられる。今の日本の米不足は何が問題なのか。農家さんはトラクター等の燃料費や肥料代の高騰があり苦しんでいる。しかし、生産者である米農家さんには十分な金が入っていないと感じる。中間での高騰が大きく、米流通システムの改善が必要であろうとここ 10 数年の手伝いで考えさせられた。国として十分な対策を講じてほしい。全国でおいしいお米を持続・安定的に生産してもらいたいと願っている。

さて、今回初めて放送大学北海道同窓会第 21 回定期総会に出席した。

因らずも改選役員の幹事として選任された。同窓会長は 25 年超も重責を担っていると言うことをお聞きし、私も微力ながら頑張ってみたいと思う。

総会終了後の懇親会では楽しい時間があっという間に過ぎ去った。

“為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬ成りけり” (上杉鷹山)

## 開 催 予 告

# 第 21 回放送大学研究発表会

令和 7(2025)年 11 月 22 日(土) 午後 1 時から

記念講演：鈴木 純 一 氏

放送大学北海道学習センター客員教授

前北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院教授

発表 1 熊 谷 寿 二 氏 修士課程修了

発表 2 (未定)

第 21 回放送大学研究発表会実行委員会

実行委員長 中 根 恵 美 子

受付窓口 FAX 011-215-8468 e-mail [juukichil949@gmail.com](mailto:juukichil949@gmail.com)

URL: <https://ouj-dosokai.com/>

<https://hokkaidosokai.webnode.jp/>

## 第12回 紙上同窓会

室蘭市 田尾会員

私は放送大学卒業生ですが、現在、教育と心理コース5年生です。3年学士入学です。他方、北海道大学道新アカデミーの学生でもありますが、仕事の都合でなかなか行けません。勿論、北大の方は非正規なので、二重学籍にはなりません。

南幌町 鈴木会員

退職後、1年が経過し、ゆったりペースの生活に馴染んできました。最近、糍甘酒を手作りし、その美味しさにとっても驚きました。若い時には苦手だったのですが、年令と共に味覚も成長するのでしょうか。楽しみがまた1つ増えて嬉しく思っているところです。

総会の日には、すでに予定がありましたので、残念ですが、欠席とさせていただきます。

札幌市 沖野会員

歴史の研究は続けています。町内会活動、英活、ゴルフも楽しんでいます。今年はコロナ禍で中断していた海外旅行も計画しています。

苫小牧市 岡田会員

役員の皆様いつもありがとうございます。この1年特に変化はなく平穏に過ごしています。同窓の皆様のご活躍ご健勝をお祈りいたします。

岩見沢市 前田会員

同窓会役員の皆様、お世話になっています。私は、4月から教養学部にも再入学して、4コース目（自然と環境）の学習を始めました。宇宙や太陽系の成り立ちに興味があります。これからもよろしくお願ひします。

岩見沢市 二階堂会員

事務局の皆様、大変ごくろう様です。毎年連絡を頂きありがとうございます。

函館市 阿部会員

定期総会等、色々御苦勞様です。よろしくお願ひ致します。

札幌市 武井会員

履修科目 日本美術史の近代とその外部（'18）より、喜多川歌麿の研究をしています。特に有名な作品は〈寛政三美人〉と〈婦女人相十品・ポッピンを吹く娘〉の二作品です。2025年のNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重乃夢斬～」では、歌麿が重要なキャラクターとして登場します。喜多川歌麿役を演じる染谷将太さんは、2020年の大河ドラマ「麒麟が来る」では織田信長の役を務めました。本作では、主人公の蔦屋重三郎に見出され、才能を開花させていく若き日の歌麿を演じます。

札幌市 市川会員

お陰様で、健康で日々を過ごしています。放送大学北海道同窓会の益々の発展を祈っております。

札幌市 廣齋会員

3月末に定年退職となりましたが、生活と福祉コースに再入学して学生としては現役として、日々を過ごしています。

清水町 中河会員

52歳で入学し、10年以上かかって卒業しました。今も役立っている学科は、「問題解決の考え方」（ちょっと違っているかもしれませんが）です。いろんな問題にぶつかっても、考え方に幅ができて何とか前に進むことができます。何とかなるだろうと思えるからだと思います。

帯広市 小川会員

整骨院の運営継続しつつ、契約している事業所様での産業コンサルティング、裁判所での調停業務、そして看護学校二校で医療コミュニケーション講義を非常勤にて請け負っております。

札幌市 小原会員

なかなか出席することができず申し訳ありません。現在、新たな学びに時間を割いております。落ち着きましたら、また参加させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

札幌市 佐藤会員

現在、3コース目を再び学習中です。今年も頑張って時間を作って単位に関係のない授業についても聴講したいと思います。今後も皆様どうぞよろしくお願いいたします。

札幌市 庄子会員

札幌の桜は、今がさかりとなりました。～4/29 現在～。日頃のご活躍、誠にありがとうございます。27日に子、孫と円山公園に行きました。桜を愛でる人々が沢山来ていました。風は少し冷たかったのですが、陽が射すと桜の美しさは一段と映えていました。そこここにディジーの花つぼみも群生し、子、孫共に春の嬉しさを体感しました。所長の御講演も楽しみです。

札幌市 熊谷会員

4月から博士後期課程に進学しました。修士課程と比べると講義の数は少ない(ほとんどない)のですが、自分の研究に費やす時間が多く、進捗の管理を含めてプレッシャーを感じています。

札幌市 赤裏会員

返信遅くなり申し訳ありません。昨年夏の後期申請時期に入院していて半年間授業が取れなかった。25年前期はちょっと多め(?)に取ってしまい、四苦八苦している。半年ごとの試験はとても良い刺激になる。苦しいけどやめられない私です。

札幌市 村瀬会員

老親の車には擦り傷が増え、自分の車の車検ではエンジンを修理しないと通らないと言われて買い替えを検討しました。同じ車種でも安全性が増した車は昔より高額でビックリしました。

深川市 山西会員

ご苦労様です。84歳と年をかさねましたが、元気で読書をしております。お世話になります。よろしく願いいたします。

帯広市 木幡会員

少子高齢社会の不便さと感じることが多くなりました。

札幌市 福田会員

いつも有り難うございます。毎年、会報を楽しみにしております。

室蘭市 小田会員

またしても2年で卒業してしまいました。「人間と文化コース」に再入学したので、今度こそ長居します。

札幌市 道下会員

いつもお便りありがとうございます。中根会長 他 役員の皆様の活動に感謝申し上げます。ご発展を心から願っております。

札幌市 小田会員

お疲れ様です。ご盛会をお祈りしております。いつもご案内を有り難うございます。

千歳市 宮崎会員

いつもありがとうございます。

新冠郡新冠町 村上会員

同窓会会長、事務局の皆様の日々の活動に敬意を表します。ありがとうございます。

札幌市 櫻井会員

同窓会生として、源氏物語の zoom 講座に参加しています。

帯広市 佐藤会員

出席できず、とても残念です。親族の介護があり、家を空けることができません。総会の議決は議長に委任します。次の機会には行きたいと思います。

札幌市 猪股会員

昨年度から5つ目のコース「自然と環境」の3年生に編入しました。高校・短大と化学・生物は得意科目でしたが、50年近く経つとむずかしくて！でした。「初歩からの化学」は通信指導で30点でした。無事単位認定試験は受験できましたが、しばらくショックでした（笑）。徹底した過去問対策で試験は満点でした。卒業まで2年かけて他のコースの科目も学んでいきたいと思っています。役員の皆様ありがとうございます。

札幌市 佐藤会員

卒業して数年が過ぎ、また学びの機会を得たいとの気持ちが強くなってきました。昨年11月末、母を、10年前に父を見送りました。学生の時、担任との父母面談で「娘さんは、ご両親が健在で幸せですね」と言われたと、時々思い出していた言葉です。それぞれ90歳代で亡くなりましたが、もっともっと一緒に暮らしたかった。唯一の親孝行と呼べるのは、最後の時を一人にしなかったことです。前を向いて歩こうと決意した今日、この頃の私です。



札幌市 藪崎会員

定期総会当日5月24日(土)は、私の居住しているマンションの年1回の定例総会日であり、私は、管理組合の役員をしている関係上、出席せざるを得ず、申し訳ありませんが、同窓会の総会には欠席させていただきます。総会ならびに懇親会のご盛会を祈念しております。

江別市 澤井会員

御無沙汰しております。放送大学では永く(1996年から2020年)出向き、カセットテープ、ビデオテープの借受け、また学習室での再視聴、更に卒業目指してスクーリング等と、おかげさまで2度の卒業祝いまで! 現在、永年勤めた企業も退職し、関連企業の団体で後進の育成指導の一助に当たっております。これも放送大学で会得した部分も多く幸いと存じます。皆様の御多幸を願って一筆申し上げます。

帯広市 中島会員

皆様お変わりありませんか。私はここ数年の間に両股関節に人工骨頭が入りまして、何事もスロースローになって杖を手放せなくなりました。ですから「人間と文化」の中から一科目か二科目を選んでゆっくりと学んでいます。今までは稲村哲也先生が好きで色々な処へ誘って下さいました。それが今学期には名前が見当たらず寂しい限りです。今度はまた違った先生をみつけて学んでゆこうと思います。放送大学は色々な先生方がいらっしゃるって学びたいことが沢山できます。傘寿になってもっともっと学びたいと思いますが、皆様の後からゆっくりとついてゆきたいと思います。



虻田郡洞爺湖町 藤川会員

予定があり出席できません。お忙しいなかお知らせいただきありがとうございます。先日、後期高齢者になりました。まだ仕事をさせてもらっていますが、ちょっと大変になってきました。一日を大切に生きていこうと思っています。

札幌市 長谷部会員

年齢と共に病院通いで大変です。行くところが多くなって(病院のこと)、忘れて行かないで居ると、「今日受診日ですよ、今からでもみえますか?」とのこと。年を取ると困ったことです。日々、こんな状況で生きています。頑張ります。

札幌市 早坂会員

実母と夫と三人暮らしでしたが、続けて二人とも亡くなり、一人になってしまいました。一人の冬も無事に越すことができ、今、ホッとしています。二人のために花を作ろうと思い、庭仕事を始めました。同窓会役員の皆様には、いつも会報を届けていただいて、読むと元気が出ます。どうもありがとうございます。皆様、どうぞご自愛下さいませ。

江別市 岩岡会員

こんにちは。また今年もよろしくお願ひいたします。4月の初め頃、ふきのとうができましたので、早速、甘みそを作りました。一ヶ月はもちますよ。まだ桜の方は4月の中に入っても、蒼はかたいです。下旬になりましたら寒くて、場所によっては雪が降ったとかで、花の咲きが遅いです。毎年草畑のドクダミを取っては捨てていましたが、今年を取って乾燥させて、お茶を作ってみようと思っています。去年は黒ぶどうでワインを作り、先日、焼き肉の時にかけましたら、お肉が柔らかで美味しかったです。

中川郡幕別町 馬淵会員

私は、2009年度第2学期に卒業致しました。昨年9月16日、帯広とかちプラザにて放送大学の文化祭に出席させていただきました。とても貴重な時間でした。同窓会の御盛況を心からお祈り致します。

札幌市 濱田会員

娘宅の家事手伝いや孫の世話で忙しくしております。

同窓会の皆様いつもありがとうございます。

恵庭市 平野会員

北海道大学付属図書館で雑誌受入をたんとうしています。7年目になります。

札幌市 杉山会員

妻がインフルエンザをこじらせて肺炎となり、1月上旬入院。

回復はかばかしくなく、ほとんど病院がよいの状況です。

さいたま市 吉田会員

同窓会の皆様、お元気でいらっしゃいますか。

私は、さいたま市で1年半になりました。遠方会員としてこれからも関わらせていただきたく、よろしくお願ひいたします。

恵庭市 大川 会員

一昨年、知事より認定を受け、里親をやっております。去年は、一時保護 4名、一時委託 1名を受けました。

今年も継続委託1名を受け、養育しております。大学で学んだことが、とても役に立っております。

札幌市 佐藤会員

72歳となりますが、フルタイムでの仕事で頑張っており、ストレスの発散には、体力の衰えを感じながらも大型バイクでツーリングを楽しんでいる。イイ爺(じい)ライダーです。

札幌市 遠藤会員

健康のために、軽いジョギングを続けています。

函館市 佐藤会員

懇親会いいですね。函館・道南地区でも開催してほしいです。

札幌市白石区 佐藤会員

いつもお世話になっております。この春10年かかってしまいましたが、人間と文化コースを卒業いたしました。

現在は大学院に修士選科生として在籍しております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

千歳市 村田会員

皆様とともに学んだ日々をなつかしく思う今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか？

私自身卒業後も変わらず会社員として業務に従事しております。

去年は業務の都合もありうまくいきませんでした。さらなる高みを目指して大学院への挑戦を続けてまいります。

また皆様とお顔を合わせられる日を楽しみにしております。

河西郡芽室町 佐藤会員

同窓会会長・役員の皆様いつもありがとうございます。

糟糠の妻を失い、はや3年が経とうとしています。悲嘆の中にかすかに日常が取り戻しライフワークにしている古典落語の研究を始めました。

当地の遅れてやってくる桜の花を楽しみに待っています。

江別市 成田会員

総会時には、新緑で北海道も過ごしやすい季節になっていることでしょう。

5月中旬以降、全道各地では田植えが真っ盛りです。わたしも1農業支援に向けて老齢をも顧みず健闘しております。今年は少しでも米が大量に生産され、少しは安くなしてほしいと思います。

しかし、農家さんは、燃料代や肥料代等が大幅にこうとうしており、苦しい状況にもなっております。農家さんと消費者としての立場の間で悩みは尽きません。

放送大学もひとまず卒業したので農作業も卒業できるかなと考えている今日この頃です。

釧路市 継枝会員

変わりありません。

札幌市 沼畑会員

5月現在入院加療中です。

二階郡八雲町 佐藤会員

定期総会に出席できず申し訳ありません。実行委員会の皆様、お忙しい中、色々ありがとうございます

こちらの地域に引っ越して来てからもうすぐ1年になります。専業主婦をしていましたが、仕事につくために履歴書を作成しなきゃと思っている今日この頃です。

みな様も お身体気を付けて楽しい毎日を過ごされてください。

音更町 坂本会員

3月29日(土)北海道学習センターの学位記授与式に出席させていただきました。今回の卒業で名誉学生になり学長から名誉学生の表彰状と表彰盾をいただきました。北海道学習センターのXで概略が確認できます。5月10日(土)に北海道新聞のシニアコーナーに掲載されました(北海道版)。

北斗市 高橋会員

二年前に大学院の科目を卒業に必要な分、履修しました。いつか大学院受験を考えています。仕事はあと二年で早期退職し、自分のための人生を歩みたい、と考えています。仕事はやめたら終わりですが、学びは一生続き、自分を成長させ続けることが出来ると気づきました。その仲間がいることをとても幸せに、心強く思っています。なかなかそちらへは出向けませんが、退職後ライラックの咲く場所でお会いできるのを楽しみにしています。

石狩郡当別町 曾川会員

現在は4つ目のコース「心理と教育」を学んでいます。

新しいことを学ぶのは、いくつになっても楽しいです。

中川郡幕別町 吉田会員

昨年6月久しぶりに北大構内の放送大学の校舎見学をしてきました。10歳と8歳の孫を連れ、ここが爺の通った大学だよと案内しました。クラーク像や小林快次教授の恐竜総合博物館を時間をかけ見学しました。昼は学生食堂で懐かしく、カレーライス。何時しか孫たちは、普通の時間帯に授業が受けられる学生になってもらいたいとも思ったものです。

帯広市 平子会員

同窓会の運営、大変お疲れ様です。遠隔(帯広)においても何かしらお手伝いが出来るかと引き受けておりました。同窓会の役員ですが、いつもメールを頂きながらも何もすることが出来ず心苦に感じています。

このまま身を置いていまして皆様にも申し訳ありませんので、役員辞任のお願いをしたい次第です。会議や集まりが平日日中ではやはり無理でした。残念ですが・・・大変。

- 役員より： 平子さん!! 辞めないでください。Zoomを使った会議など遠距離でも参加していただけるよう努力中ですのでよろしくお願い致します。

石狩市 竹内会員

いつもご連絡いただきありがとうございます。会費納入を忘れそうになるため、会費(¥10,000円)振り込ませていただきました。なんのお手伝いも出来ず、申し訳ありません。

2023年9月、全科履修生を卒業しました。卒業式のあと、懇親会で、同窓会の皆様が温かく祝福して下さいましたこと、忘れません。今度は自分が誰かのためになれることがあれば少しでもお手伝いさせていただきたいと思っております。

\*以上は令和7年(2025)年度定期総会返信ハガキの近況から掲載しました。

札幌市 中根会員

先日20歳から購読していた新聞を辞めました。

56年間、右にも左にも偏らないメディアとして信頼し、また、有名大学教授陣の意見などの掲載を勉強のツールにしてきました。財務省の瓦版と罵られていても、この8年間ほどは印象操作、変な見出しや取り上げ方、記事の割り付け方、軽薄な社説などを反面教師として赤のサインペンをもって✓してきましたが、もう我慢ができなくなりました。

社会面(三面記事)の「殺人犯が逮捕された」との見出しの下に、天気予報の記事に挟まれるようにして3cm×4cmほどの天皇陛下がモンゴルから帰国した写真入りの記事が掲載されていました。ショックでした。自分の日本人としての尊厳が踏みにじられた思いでした。私は右翼でも左翼でもありませんが・・・ 憤りを覚えたので購読を辞めました。過剰反応でしょうか?



# 第16回文化祭のお知らせ

文化祭実行委員会・実行委員長 佐藤 恵

テーマ

「キャンパスへ出かけよう！新しい仲間 まだ知らない自分に会いに」

Explore OUJ campus! Your new journey begins here.

◎ 文化祭の日程

札幌リアル会場 9月19日(金) ~ 9月21日(日)

メタバース会場 9月19日(金) ~10月20日(月)

9月19日(金)

12:00~16:00 サークル活動紹介、個人参加の作品の展示(6階)

11:00~15:00 バザー提供品(生もの・古着以外)受付

★ご都合がつかない方、提供品に関する問合せは

090-2058-4453 中根にショートメッセージにてお問い合わせください。

13:00~14:50 「中川一子さんと作る布小物づくり ほっこりチクチク」

布小物の体験、手ぶらで参加できます 6階実習室

14:00~16:00 自学研究発表 6階小講義室

「ヨーロッパのカフェ事情」 by 全科生

「仏教雑学 戒名ってなーに？」 by 全科生

テーマ自由の20分程度の発表会です。発表者募集中

9月20日(土)

9:00~16:00 サークル展示、個人展示 6階実習室

9:00~16:00 バザー 5階エレベーターホール

13:00～ 講演会 於：6階大講義室

「光で測る、光ると分かる ～生物と化学の発光現象とその応用～」

講師：谷 博文 先生

北海道学習センター客員教員/北海道大学大学院工学研究院准教授

初夏の水辺に舞う蛍の光は、夏の風物詩として多くの地域で親しまれています。蛍のほかにも、自ら光を放つ生物は世界中に数多く存在します。こうした生物の発する光は「生物発光」と呼ばれ、特定の化学反応によって生じる現象であり、人工的に再現することも可能です。実はこのような発光現象は、環境、健康、安全といった身近な分野において、さまざまな計測技術に応用されています。本講演では、生物や化学反応による発光の仕組みを紹介しながら、それがどのように「測る」技術として活用されているのかを解説します。

14:45～ コーヒータイム 本物のコーヒーをお楽しみください。

15:00～ステージ発表 於：6階大講義室

うたの会、フランス語サークル、宮沢賢治作品朗読、北海道大学落語研究会  
久しぶりに北大落研の古典落語もお楽しみに

9月21日(日)

9:00～16:00 サークル展示、個人展示 6階実習室

10:30～12:40 映画会「型破りな教室」1回目（北海道学習センター・中講義室）

13:00～15:10 映画会「型破りな教室」2回目（北海道学習センター・大講義室）

治安最悪な国境の町の小学校で起きた奇跡の実話 アメリカとの国境近くにあるメキシコの町マタモ ロスの小学校で2011年に起きた実話を映画化した作品。麻薬と殺人が日常と化した国境近くの小学校。子供たちは常に犯罪と隣り合わせの環境で育ち、教育設備は不足し、意欲のない教員ばかりで、学力は国内最底辺。しかし、新任教師が赴任し、そのユニークで型破りな授業でクラス全体の成績は飛躍的に上昇。そのうち10人は全国上位0.1%のトップクラスに食い込む快挙。未来を望むことさえしなかった子供たちが、可能性や夢に出会い、成長する姿をぜひご覧ください。（上映時間：125分）

映画予告編 

映画会は旭川・帯広でも実施します。

★映画会：「型破りな教室」旭川会場

9月14日(日)12:50～16:00 旭川市中央図書館2階 視聴覚室  
上映後、交流タイムとサテライトツアーを予定



映画予告編

★映画会：「型破りな教室」帯広会場

9月23日(火・祝)12:50～15:30 とかちプラザ2階 視聴覚室  
上映後、交流タイムを予定

ステージ発表、絵画・写真・書道・手芸などの作品展示も募集中

講演会・映画会は事前申し込み制です。

詳しくは文化祭ホームページで 

連絡先:oujhokkaido.bunkasai@gmail



## 同窓会の社会貢献コーナー

### 海岸清掃活動について

令和7年(2025)度は5月11日石狩市浜益区群別地区海岸を初めて清掃しました。海岸は30cmほどの石原でプラの漂着物が引っ掛かりやすい海岸でした。地元住民から海岸清掃してと役所に申し出があったとのことです。50名ほどで約2時間でほぼ清掃でき、510Kgの漂着物を回収



しました。作業終了後は役員が作った豚汁に舌鼓を打ち、昼食後は浜益温泉で汗を流して帰路につきました。6月29日洞爺湖町の海岸清掃では、30名参加。この日の漂着物は290Kg回収しました。洞爺湖町からの温泉無料券で汗を流し、コスプレ大会も見学しました。地球環境を今日も守りに行きます!!





←まずはメーリングリストに登録！

放送大学学生団体を盛り上げよう！

全国の放送大学学生団体を繋ごう！

他センター所属でも全国放送大学学生団体会員になれる！

# 放送大学 学生団体連絡会 メーリングリスト 作りませんか

2025. 8.2 (土) 10:00-12:00

in Zoom

年1回の会議

新規会員獲得

地域貢献活動



全国の公認学生団体の代表等が集まり、生涯学習継続のための、公認学生団体の意義について意見交換をしよう！

自分の興味や関心のある学生団体に参加しよう！



他センターの学生団体入会可能のため、積極的に自分達の団体をアピールしよう！

大学生活をより楽しく！豊かに！

地域交流  
イベント

他センターの公認学生団体とも協力して地域活性化にも貢献しよう！

社会との繋がりを深めよう♪

主催：埼玉・東京足立学習センター 担当 南雲

Email : ouj.studentgroup@gmail.com

## サークル紹介

語学研究会 [hjougogaku2004@gmail.com](mailto:hjougogaku2004@gmail.com)



語学研究会は2004年に設立し、約20年を迎えました。コロナ災禍も乗り越えて、この間多くの国の先生と、沢山の会員と交流しています。その後、初級部門の開設、更に、ドイツ語部門を再開して、活動をしています。英語以外の多言語の必要性もより感じている昨今の現状です。ここに会員の感想やサークルの様子などを掲載し、ご案内いたします。卒業された方も、入会できます。(CO)

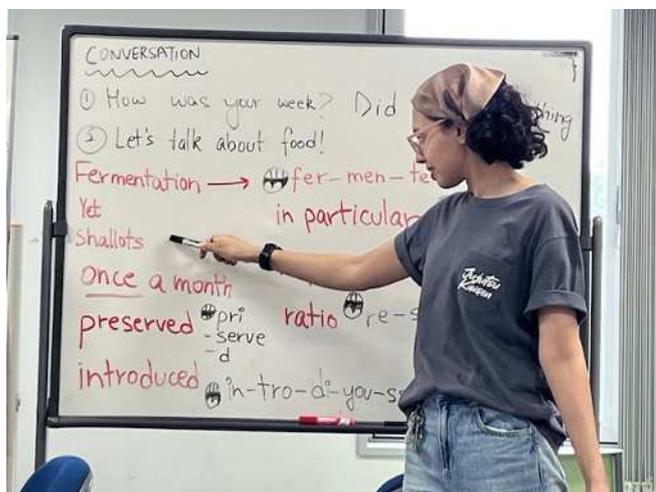
・英語初級部門 第1・第3金曜日 13:00～14:30(相談の上、次回8月1日・8日)

現在インド出身の北大大学院生講師を迎え、基礎から学んでいます。「2024年第2学期から初級部門で学んでいます。会員の皆様はじめ先生も、温かい方ばかりです。英語の学びは勿論のこと、大学生活での不安や困り事などの相談にも頼りになる場所です。皆様、是非ご参加下さい。(TI)」

「入会して2年目です。語学だけでなく、先生の出身国の文化を知ることが出来ますし、学生同士の情報交換もたくさんあります。勉強もですが交流が楽しいです。まだ自力で話すことは出来ませんが、入会時より耳が慣れてきた気がします。とても楽しく活動していますので、まずは見学に来てくださいね。(KK)」

・英語中級部門 毎週木曜日 13:30～15:30 北米のネイティブスピーカーである大学院生の先生による、実践的な英語学習の場です。毎週2時間、温かい雰囲気の中でレッスンを行っています。1時間目はそれぞれ今週の出来事を日本語と英語で発表し、2時間目は先生が用意した記事の読み合わせ、英語で質問や意見交換をします。話題は、旅行の体験談、個人の研究内容など多岐にわたり、毎回新しい発見があります。最近では、先生のスピーチの録音データを教材にして、レッスン終了後にメンバー同士で学ぶ活動も積極的に行っています。また、レッスン中には、AI同時翻訳ツールも導入し、聞き取りが苦手な方でも安心して参加できる環境づくりを進めています。現役学生だけでなく卒業生も参加しており、通信制では維持が難しい「学び続けるモチベーション」を保つ場にもなっています。参加費用は出席回数に応じて設定しているので、忙しい方や不定期参加の方でも無理なく続けられるのが魅力です。体験無料ですので、是非覗きにきて下さい。(MS)

・ドイツ語部門 第4土曜日 13:00-15:00 再開 8月23日予定 Guten Tag! ドイツ語の世界へようこそ! ドイツ語に少しでも興味がある方、ゆっくり学びたい方、大歓迎です! メンバーとの楽しい交流を通して、美しいドイツ語を基礎から丁寧に学びましょう。(SA)





# 放送大学 学生サークル



## ♪ うたの会

♪ **みんなと歌って  
を強化しよう!!**



**喉と肺の筋肉**

うたの会は、ローレライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。  
放送大学学歌や道・放大生賛歌、仰げば尊し、喜びの歌なども歌います。英語・ドイツ語・  
ロシア語など原語でも歌います。プロの先生がピアノ伴奏で教えてくれます。

会の目的：豊かな人生の糧として、うたを通して広い文化活動を楽しむ。

会費：年会費 千円  
会場：大講義室（6階）  
定例会：第1火曜日、10:30

行事への参加  
・入学者の集いへの出演  
・卒業を祝う会への出演  
・文化祭で発表

入会をお待ち  
しています。

親睦会：6・12月  
定例会後（昼食会）

一緒にうたいませんか？

**歌うことは肺の機能を高め、脳を刺激する・のどの筋肉を強化し誤嚥防止**

**放大生の健康増進に役立ちます!!**

指導者は長谷部美恵先生 練習後  
は学食で懇談も

外国語楽譜はカタカナ付き発音は  
みんなで練習

うたの会 代表 中根 恵美子・副代表 寺岡 宏  
連絡先 ・FAX：011-215-8468 e-mail juukichi1949@gmail.com

## 会費納入と新入会員募集のお知らせ

令和 7(2025)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振り込みくださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、〒、住所、電話番号、卒業年月、コース等」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費(初年度) 1,000 円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。)また、70 歳以上の方は、1 万円です終身会員となります。

ゆうちょ口座名 放送大学北海道同窓会  
口座番号 02740-0-37725

## 放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

## 「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

(宛先) 〒060-0817

札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学構内

放送大学北海道学習センター気付

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函可

FAX : 011-215-8468 中根

e-mail [juukichi1949@gmail.com](mailto:juukichi1949@gmail.com)

## 新入会員のご紹介！！(敬称略・順不同)

令和 6 年度第 2 学期卒業・修了生

(生) 成田 孝男 (社) 佐藤 一美

(人) 佐藤 昌昭 (心) 渡辺 陸人

(生) 菅原 優 (生) 渡辺 晃一

(院) 熊谷 寿二

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

## 編集後記

近年、放送大学同窓会連合会や各地の同窓会役員にも高齢化が進んでいます。同窓会の会務は同窓会役員のボランティアで成立しています。今年度の同窓会連合会会長は早期退職して起業し、拘束時間を少なくして同窓会会務のためにと人生を選択したそうです。とても真似はできませんが、放送大学の同窓生や在学生、母校のためにと考えたら時間が足りないでしょう。わかります。当会会員の近況を総会返信のはがきを読むたびに、一人一人に手紙を書きたくなります。それを実行できないで自分の面倒を見るのが精一杯になっています。しかし、「捨てる神あれば拾う神あり」北海道同窓会に今年度は助ける神が現れました。 乞うご期待!!

北海道の定期総会は、5月24日に学習センター山田所長の記念講演を加え対面で開催され、全議案承認されました。終了後に参加者の懇親会もできました。懇親会では「バスで研修旅行がしたいね。だけど貸し切りバスが高騰しているし」などとの声があり、山田所長に「来年はバスを何とかして研修旅行をしたいです」と要望しました。対面での交流の有意性が再認識されているので、学生諸君に有意義なキャンパスライフを応援したいと同時に同窓会員も混ざって交流する機会にしたいですね。